

若手イニシアティブセミナー

Wakate-Initiative Seminar



筑波大学
University of Tsukuba

The Evolution of Eyes and Vision from Cyanobacteria to Humans

Walter J. Gehring
University of Basel, Switzerland

日時： 2009年11月24日（火） 17:00 –

会場： 筑波大学 中地区2B棟5階 2B507

ゲーリング教授は、ショウジョウバエの体節決定遺伝子の解析から、様々なホメオティック遺伝子の間に共通の塩基配列があることを見出し、これをホメオボックスと名付けた。さらに、ホメオボックス遺伝子が下等な生物からヒトに至る様々な生物に存在することを明らかにし、生物の形態形成が種を越えた共通の仕組みで調節されていることを初めて明らかにした。教授は、発生機構におけるこの普遍性概念をさらに拡張し、様々な動物の眼の発生が、脊椎動物、無脊椎動物にかかわらず、Pax6遺伝子を中核とするやはり進化的に保存された遺伝子プログラムにより制御されていることを発見した。これらの卓越した発見は、生物界における形態の多様性と進化を、遺伝子プログラムの共通性と変化という視点から研究する新たな分野の創出につながった。これまでに、Otto Warburg-Medaille、Mendel-Medal、March of Dimes Prize、Balzan Prize、京都賞など多数の受賞を受けている。

連絡先：生命環境科学研究科・構造生物科学専攻・古久保 - 徳永 克男

内線6644 ; furukubo-tokunaga.gm@u.tsukuba.ac.jp

生命環境科学研究科・若手イニシアティブ・丹羽 隆介

内線 6652 or 4907; rniwa@biol.tsukuba.ac.jp